

上下水道局長目標

上下水道局長

北田 裕司(きただ ひろし)



当局の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



上下水道局の仕事

上下水道局は、総務課、経営課、窓口サービス課、水道建設課、給水管理課、下水道整備課、下水道維持課の7課で構成され、上質な浄水を市民に安定的に提供すること、及び汚水の適切な処理と雨水の排除を主な仕事にしています。

上下水道局の令和3年度の目標

上下水道局の目標は、水道事業では安全で良質な水を安定して供給するため、計画的な財源確保のもと、耐震補強工事を行う等、災害に強い水道づくりを進めていきます。下水道事業では、生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道施設の計画的な更新や耐震化を図ると共に、豪雨による内水被害の軽減策を進めます。また、所沢市水道事業経営計画等に基づき施策を行うことで経営基盤の強化、健全経営に努めていきます。

目標達成に向けた重点事業

	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	水の安定供給	安全な水の安定供給と災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した水道管を更新するとともに、配水池などの貯水施設を耐震補強するものです。	老朽化した水道管約12,000mを更新するとともに第一浄水場浄水池と西部浄水場配水池2号の耐震補強工事を行います。	老朽化した水道管を9,884m更新しました。第一浄水場浄水池と西部浄水場配水池2号の耐震補強工事を行いました。
2	第一次市街化調整区域下水道整備計画(第4期整備事業)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、令和2年度から令和6年度の5年間で市街化調整区域の第4期整備事業区域内に汚水管を布設するものです。	対象地区の受益者負担金を徴収するとともに、汚水管約8,360m(繰越含)を布設します。	受益者負担金の1,949件のうち1,882件を徴収するとともに汚水管7,278m(対象面積12.3ha)布設しました。
3	マンホールサミットの開催	コロナ禍で開催延期となった「第10回マンホールサミットin所沢」を実施することで日本が世界に誇れるマンホール蓋の魅力を発信し、下水道事業のイメージアップと「見える化」を推進するものです。	令和3年11月20日(土)に主とところざわサクラタウンを会場としてマンホールサミットを開催します。	新型コロナウイルスのまん延により、開催を令和4年度に再度延期しました。

4	雨天時浸入水対策事業	下水道施設の老朽化等に伴う雨天時の汚水管への雨水の流入によつての汚水の宅地内への逆流等の被害が多発していることから対策を行つていくものです。	雨水時浸入水対策計画を策定するとともに、下安松地区の一部の地域について先行して対策工事を行つていきます。	県の計画が令和3年度中の策定となつたことから、整合させるため令和4年度に計画策定することとしました。下安松地区工事準備のため管路のカメラ調査を行いました。
---	------------	--	--	---